

平成28年 2月1日

# えりも



1 2月定例会の概要 2P

一般質問 3P

所管事務調査 8P

この人に聞く 10P

写真・成人式にて

※カラー写真は、えりも町  
HPにて、ご覧いただけます

# えりも町議会12月定例会

12月18日、第4回定例会が開催されました。条例の改正や予算の補正など、提出された議案をいずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では5人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

## 補正予算

- ・ふるさと納税記念品、業務委託費等
- 1億2927万円
- ・財政調整基金への積立金
- ふるさと納税の一部を積立て
- 7000万円

・子育て世帯に対する医療費支援

中学生までの医療費補助の追加  
124万円

## 人事

### 人権擁護委員

- えりも町字本町 神田 眞弓さん(68歳)
- えりも町字歌別 加藤 弘子さん(67歳)

平成28年3月任期満了による再任

## 決議事項

日高農業改良普及センター・東部支所の存続を求める決議

本所に統廃合する道の提案に対し、日高東部3町の農業振興に必要な機関であるとの認識から、その存続を求める決議を議決。

## 条例改正

えりも町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定

行政手続きにおける、個人番号の独自利用や同一自治体内の他の機関への特定個人情報提供を行うために、その必要な事項を定める。

えりも町表彰条例改正

えりも岬ウインディーズが全道優勝し、3月開催の全国大会への出場に対する功績をたたえるところに、スポーツに対する町民意識の高揚を図るため、「スポーツ功労表彰」と「特別スポーツ功労表彰」を追加。

## まち・ひと・しごと創生総合戦略

えりも町では、今後急速な人口減少が見込まれることから、将来にわたって活力のある、持続可能なまちづくりに向け、次の4つの基本目標を設定し、具体的な施策をまとめた「総合戦略」の策定に取り組みであり、えりも町議会としても積極的に議論に参加してまいります。

### 基本目標1 まちに仕事をつくる

1次産業の6次産業化への支援や地域産業の後継者の育成など。

### 基本目標2 まちに人を呼び込む

豊似湖を活用した、ヘリ遊覧飛行事業や自然体験事業。外国人観光客誘致や修学旅行生民泊体験事業など、地域連携による交流人口の拡大。

### 基本目標3 結婚・出産・子育て支援

不妊治療費・妊婦健診助成事業や産前産後サポート事業など出産から子育てまで切れ目のない支援。結婚相談や婚活イベント開催事業などの婚活支援。

### 基本目標4 安心・安全なまちづくり

公共施設複合化による便利で快適なまちづくり。自主防災組織の強化、消防団員の確保、空き家対策の推進による地域防災力の向上など。

# 一 般 質 問

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場です。町政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

## 問 中学校の学習指導の数値目標の成果は



大坂庄吉議員

## 答 目標達成率も高くなっている

とに数値目標を持たせながら日々の学習指導を進めるよう指導しているとのことだが、数値目標の成果はどのようなか。



真剣に学力テストに取り組む（えり中）

**問** 大坂議員 **答** 教育長

2015年度全国学力テストの管内状況が公表された。当町においては、小学生に比べて中学生の成績が振るわなかったことが示された。

受験意識が低く、中だるみしてしまうのではと危機感をあらわにした訳だが、連携型中高一貫教育が制度化されたときから心配されていると思われる。

学ぶ意識の低下の対策として、生徒に中学1年生段階から入試への目標を持ち、個人ごとに数値目標を持たせながら日々の学習指導を進めるよう指導しているとのことだが、数値目標の成果はどのようなか。

①目標点数を設定することで目的意識をもって学習を進めるようになってきた。

②計画と反省を具体的に進めることで目標達成率も高いことが分かってきた。

③3年生は入試目標点数を設定させ1月から2か月間、高校教員の乗り入れ授業も協力して入試対策を各教科で指導して進めており、今後は効果が上がっている学習方法などを例として組織的に指導することが必要である。



全道優勝したウィンディーズ（深川市）

**問** 全国大会への助成は

**答** 助成を検討している

大坂議員 **答** 教育支援課長

えりも岬ウィンディーズが全道優勝し、北九州市で開催される全国大会へ出場することが決定し、喜びいっぱいであるが、北九州市となれば宿泊、交通費、その他諸経費が膨らむことが予想される。遠征費などの助成について町の見解を。

日本スポーツ少年団から大会期間中における宿泊、食事代の負担があり、北海道体育協会からも何がしかの助成があるとのことである。連絡の状況である。

前泊、後泊の旅費等の経費も新たなユニフォームの作成経費、さらには町外での練習試合に係る移動手段や練習場の確保など、少年団の監督さんや関係者の皆様、団長の意見を尊重しながら、町と協議し助成することの検討が進行している。





近藤一郎議員

# 働く親の子育て環境の整備を

## 現状での運営を基本として進める

問 近藤議員

中央保育所の保育時間を、午前7時30分から午後6時まで延長できないかという提案であるが、この時間帯の保育は、現在近隣の町で最低一か所受け入れ体制が整っている状

況で、保育所に通う保護者や加工業者からも延長を求める声がある。子育て環境の充実に対する町の支援として、児童手当や子育て応援券など金銭的な補助も、とても重要であるが、

これからの町全体の発展を考え上での、子育てをしながらも働きやすく生産性の高い環境のインフラ整備が大事であると考えているが。

答 町民生活課長

中央保育所の保育時間を午前7時30分から午後6時まで延長できないかとの提案だが、現在、中央保育所で行っている保育時間の延長は、朝7時45分から8時までの15分間と、午後4時から5時30分までの1時間30分である。

現在、保育の延長を利用してはいる児童は60名ほどおり、その約半数が、5月末から10月

までの昆布漁時期に集中している状況で、午後5時すぎには、ほとんどの児童が保護者の引き取りを終わっている状況である。

なお、保育現場においては、日常的に保護者との面談等を行っているが、保育時間の延長を求める要望等は届いていない。

多少なりとも児童を迎えにいく時間等に余裕があればと感じられることについては、十分理解もし、配慮もしたいと考えているところである。今後、近隣の状況も参考に、現状でできる限りの時間延長について、検討を進めたいと考える。



中央保育所

# 問 FACEBOOKの活用を

## 答 十分検討し結論を出す

問 近藤議員

リニューアルしたえりも町ホームページを起点にし、町内外問わず、多くの人に閲覧してもらえよう多くの情報をリアルタイムに発信していくことが重要だと考える。

町民向けの連絡ツールとしての予防接種や空き家情報、その他町ホームページの更新情報の通知、町内イベントなどの情報共有。また、全国、世界へ、えりも町が誇る食と観光情報を、ドローンなどの最新技術を使用した豊似湖やえりも岬の景観、漁業の風景を動画配信したり、うに祭り、灯台祭りの宣伝等の様々なPR活動が考えられる。FACEBOOK

OKを活用した施策についての町の見解は。

答 総務課長

現在は、操作性の良いホームページ編集ソフトウエアを使用して、職員がホームページの情報発信に積極的に関わっており、町としても、ホームページはもとより、FACEBOOKや様々なソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用して情報を発信する利点等については十分認識している。FACEBOOKについては、双方向性、ユーザー数、拡散性、実名登録、また、登録なしでも閲覧が可能であるなど、当町の情報発信に係る方向性

に一番適しているのではないかと考えるとこるである。

しかし、情報をタイムリーに発信し、閲覧者の役に立つ良質なコンテンツを継続的に配信し、相互的なコミュニケーションをとっていくためには、スムーズな情報の収集・選定・投稿への対応や被写体などについてのプライバシー管理など詳細を検討しなければならぬ。また、一方的な情報の提供ではなく、いただいたコメントに対して短時間で返信を行うなど、相互的なコミュニケーションを継続的かつ円滑に行うための体制の整備も必要であると考えている。

いずれにしてもソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用した情報の拡散や、認知の度向上を実現する可能性について、十分検討し結論を出していきたい。



鈴木勇高議員

# 問 図書館の充実強化を 答 充実を図るよう前向きに検討して行く

鈴木議員

問 幼少期に読書した人は、読書しない人と比べて、年を重ねてからの意識の高さや、文化教養の深さがくらべものにならないほど差が出るという調査結果がある。

幼少時代からの「読

書習慣」は、代えがたい教育であり、幼少から子供には「絵本と図書」を好きになってもらいたいが、現在の図書館の蔵書数は少ないので、年次計画で充実強化を図ってはどうか。

答 教育支援課長

図書室としては、幼児期からの読書の重要性を踏まえ、書籍購入の際にも心がけており、蔵書数に占める児童書の割合は37.3%と日高管内では比較的高い方である。

現状の図書室は、福祉センター同様、建設から45年を経過しており、本年度中にまとまる「えりも町総合計画」の基本方針を受けて、複合的な施設と併せて検討される際に意見を述べるなど、充実強化を図るよう前向きに検討していく。

# 問 博物館開設の研究を 答 郷土資料館をより充実させていく

鈴木議員

問 日高山脈襟裳国定公園内には、太古からの自然環境がそのまま残っており貴重な存在である。その特徴を活かして博物館を建設して展示するほか、子孫にも残すための研究をすべしと考える。例えば「マンモスの化石」「シマフクロウ」「ナキウサギ」の絵画のレプリカを、風の館の廊

下を利用して、日高山脈の歴史やマンモスを絵画で展示してはどうか。

答 郷土資料館長

博物館を新しく建設するとすれば、建設費も合わせ、恒久的な財源も必要となる。郷土資料館での取り組みをより一層充実させ、時機をはかって登録博物館へ移行していきたいと考えている。

また、「風の館」での展示については、現在、駐車場から受付までの回廊は、塩分を含んだ湿気、湿度が非常に高いこと、強風が通りぬける等、気象環境から、日高山脈の自然に関する絵画での展示については、難しい面が大きいと考えている。施設内において自然等の紹介などについて風の館全体で工夫して取り組んでいく。

# 問 地域漁業の活性化を 答 水産環境整備事業を推進する

鈴木議員

問 現在は、水揚げされた魚をそのまま氷詰めにして市場に出しているが、急速冷蔵冷凍して、生寿司用として販売すれば、高額で販売できると聞いている。

冷凍施設の設置や、超急速冷凍技術の導入を図るなど、独自の取り組みを行っており、町としてこの方法が有利だから、この販売方法を進めるとか指導するという考えはない。

現在の漁業協同組合が、大型冷蔵冷凍庫を設置するのであれば、有利な補助金や融資制度があるので、これからの漁業を考え、かつその漁獲量を継続するのは厳しいと思われるので、町として、急速冷蔵冷凍による有利な販売方法を指導する考えはないか。

これからのえりも町の漁業を考え、昆布資源の維持増大や安定化を目的に、雑海藻駆除を主体とする水産環境整備事業などの漁場整備を進めるとともに、水産資源増大を目的としてハタハタ、マガレイなどの種苗生産や放流を実施し、育てる漁業を進め、エゾボラについては、産卵生態の解明のため、北大や水産試験場に調査を依頼するなど、今後も町の基幹産業である漁業が継続するための努力を行いたい。

答 産業振興課長

町内水産加工会社では、新しく大型の冷蔵



石川昭彦議員

## 問 総合戦略の進捗状況は

### 答 後継者対策と 観光振興を柱とする

問 平成28年3月までに作成されるえりも町の総合戦略の中心としてどのようなことを考えているのか。この計画

石川議員

の出来によって自治体間の格差がますます広がると思われるので、大変重要なものだと思うが。

答 企画課長

まず25年後の人口目標を国が32%減としたのに対して町は21%減の4300人を目標とした。総合戦略では「仕事をつくる」「人を呼び込む」「結婚・出産・子育ての希望を叶える」「安心・安全なまちづくり」という4つの目標を設定した。総合戦略の柱となるのは、後継者対策と観光振興と考え、具体的には、子育て支援と後継者対策として課題になっている婚活支援、さらにすでに取り組んでいる豊似湖の観光宣伝に力を注いで参りたい。

## 問 JR日高線の存続の価値は

### 答 日高管内全体の 協議の進展を待つ

問 日高線の復旧には多額の費用が見込まれているが復旧の見通しはあるのか。バスや車が交通の主流となつてい

石川議員

答 企画課長  
これまで国と北海道そしてJRとの3者協議が4回行われ、日高町村会と日高総合開発期成会が中心となって早期復旧のため活動をしてきた。

12月14日に管内各町長と北海道、JRとで「日高沿線自治体協議会」が設置され、JR側から「日高線の復旧は、持続的に維持できる仕組みが合意されなければ着工できない」との考え方が示された。今後この仕組みについて協議される事になり、町としての協力についてこの協議の進展を待つことになる。日高線は通院や通学、また観光的にも大変重要なものであると考えている。

## 問 除雪作業のやり方について

### 答 町民の皆様の 協力をお願いしたい



問 石川議員  
除雪車がよけた雪で取り付け道路や自宅前が塞がれて車が出れなくなるという苦情があるが配慮できないか。

答 建設水道課長

除雪作業を実施するにあたっては、路線ごとに、その雪をどこに処理するのがよいのかを検討し、廃土板の向きを操作することで、なるべく取り付け道路には雪が残らないように作業をしているが、限られた機械力と時間の中では全てをクリアすることは出来ない。町民の皆様のご理解とご協力を、お願いしたい。

※この他、石川議員からは「駆除されたエゾシカの資源化」について一般質問がありました。



高松亮裕議員

# ふるさと納税のさらなる改善を

## 寄付者の立場で制度の充実を図る

問

高松議員

当町のふるさと納税も9月のリニューアル後、好調に推移しているが、近年は特典品の品揃えを充実する自治体が急増し、競争が激しくなっている。

多くの寄付者から支持を得られる制度にするために工夫が必要である。

- ①寄付者の側に立って制度の改善を図る。
- ②交流人口を増やす工夫をすること以上2点について考えを伺いたい。

答 産業振興課長

①「特産品の受取日を指定したい」「寄付を先にして特典は後から選びたい」「おいしい食べ方を教えてほしい」など、寄付者が利用しやすいよう関係機関と協議したい。

また、寄付金で行った事業は速やかにホームページに掲載する。

②議員の指摘する商品券を加えることや寄付者の無料招待の実施については、総務省の通知で換金性の高い商品や高額なものを送付しないように要請があり、現時点では難しい。

9月のリニューアルで、宿泊や体験といったえりも町に来ていただくお礼の品を追加したところであり、今後も、交流人口を増やす取り組みを検討していきたい。

ふるさと納税HP



# 全国学力テストの結果について

## 課題解決に向け、チームえりもで取り組む

問

高松議員

今年4月、全国学力テスト・学習状況調査が行われた。

小学校6年生では、国語A・B、算数A・B、理科の5教科で行われ、当町は管内平均を上回っているものの、

全道的にみると14管内の中で日高管内はほとんどの教科で最下位である。

中学校3年生では、国語A・B、数学A・B、理科の5教科で行われ、当町は管内平均を大きく下回り、全道的にみても日高管内は、すべての教科で概ね下から2〜3番目である。小学校・中学校とも非常に厳しい状況にあると言わざるを得ない。「なぜ、勉強しないのか」、「なぜ、勉強

問

教育長

が嫌いなのか」児童生徒の心の声をよく聞いて、「勉強が楽しい」まではいかなくても「勉強が嫌いではない」くらいまで意欲的になれる環境作りが必要だと思うが。

学力調査結果公表については、①学校の教育指導の改善②保護者や地域住民への説明責任、序列化や過度の競争を避けることに十分配慮することと示されており、市町村の比較など序列化と誤解されることは避けて公表内容を検討している。

「意欲的になれる環境作り」のための最も重要と考える改善策の一つが「授業の課題や

まとめを明確にする」などである。

生徒に対する質問では、生活・学習習慣に係る内容を87項目、学校に対する質問では、学校体制や指導の在り方について、124項目、「環境づくり」のための調査を行っているが、この調査結果を受けての学校の方策が十分であるとは言えない。

このことから、当町では、学ぶ意欲や理解を図るため、「授業改善と家庭学習改善」を2本柱としてチームえりもで取り組んでいるが、特に中学校においては、組織を挙げた努力はしているものの、甘さがみられるところであり、今後、生活習慣を含め、一層指導を図っていく。

# 二常任委員会 所管事務調査

平成27年10月28日実施

総務文教常任委員会 委員長 渡部泰  
副委員長 笹谷廣喜 委員 川村一治  
鈴木勇高 近藤一郎  
産業民生常任委員会 委員長 大坂庄吉  
副委員長 平野正男 委員 上野勝廣  
石川昭彦 高松亮裕 議長 成田一人

## (1) えりも岬小学校外壁等改修工事について

沿岸地域特有の塩害により、えりも岬小学校の外壁や建具など非構造部材に著しい腐食・ひび割れ等が発生している現状については、本年5月の所管事務調査において確認していた。

今回は、改修工事が完了したので、再度現地調査を行ったものであるが、予定されていた補修箇所は適正に施工されており、特に窓枠の改修については、子供たちも大変喜んでいっていることであった。

学校施設は、子供たちが1日の大半を過ごす学習・生活等の場であり、安心して快適に過ごすことができる環境整備が、より良い学校教育を行うためには不可欠である。

当校をはじめ、町内各学校においても効率的に維持・改善を図り良質な教育環境を確保し提供していくことについて望むものである。



改修前



改修前



改修前



改修後



改修後



改修後

工 事 名	受渡年月日	金 額
えりも岬小学校外壁改修工事	2015/11/12	90,720,000円
苦別学校通り線改良工事	2015/9/7	4,644,000円
庶野保育所遊戯室床張替工事	2015/7/10	3,996,000円





## (2) 道路整備事業（町単独事業）について

本事業は、地域住民の要望を踏まえながら、事業の必要性や緊急性、将来的な維持補修などを考慮し、毎年数か所の町道について、改良や舗装等を実施しているものである。今回は、苦別学校通り線改良舗装事業（総延長293・47メートル）について、現地において担当者から説明を受けた。

今年度は、U型側溝の整備、路盤材の入れ替えなど、施工総延長80メートルの道路改良であるが、当該道路をキャンブ場側から通って来ると下り坂でスピードが出やすく、下りきった所が急カーブとなっており、特に冬期間は危険と思われるので、事故防止策として「急カーブ」等の標識の設置や滑りにくい舗装等の施工について配慮願いたい。

なお、次年度以降も引き続き事業を実施し、平成29年度の完成を目指す計画のようであるが、残りの部分の改良・舗装工事に当たっても、事故のないよう十分に注意を願いたい。



苦別学校通り線

## (3) 庶野保育所遊戯室等床張替工事について

### 議会だより

- 11月11日 森林づくり育樹祭
- 11月24日 第6回こども議会
- 12月11日 議会運営委員会
- 12月18日 第4回定例会  
全員協議会
- 12月24日 日高東部消防組合  
日高東部衛生組合  
定例議会
- 1月5日 えりも町消防団  
出初式
- 1月10日 成人式
- 1月15日 広報特別委員会
- 1月22日 広報特別委員会



ホール床面の経年劣化による補修工事。ピカピカな床になりました。

段差でつまずきやすかった出入口もバリアフリー化で園児たちも大喜び。元気いっぱい走ることができます。



今後、児童に対して快適な生活環境を提供していくためにも、老朽化に対する適正な維持・補修については早急な対応を望むものである。

本施設も築40年が経過し、今回の床の張替えなどの改修に伴い、他の部分の傷み具合が際立つようになり、特にトイレの床のタイルが剥がれている部分については早急な対応を望むものである。

庶野保育所遊戯室等床張替工事については、床の経年劣化による損傷が著しく、また、保育室など各出入口の段差に児童がつまずき転倒することが多くあったことから、それらを改修し児童が快適に生活できる環境づくりを目的に3か年にわたって実施された。

# この人に聞く

えりも岬ウィン  
ンディーズバ  
レーボール少  
年団監督

銅谷虎二さん



- ・住所 えりも岬
- ・職業 漁業
- ・年齢 53歳
- ・小樽水産高校卒業
- ・趣味 バレーボール
- ・好きな食べもの カレーライス
- ・ラーメン
- ・好きなスポーツ選手 ミュンヘンオリンピック金メダリスト 猫田勝敏

大坂

全道制覇おめでとうござ  
います。えりも岬ウィンディ  
ーズの発足はいつごろにな  
りますか？

銅谷監督

最初は、同好会から始ま  
り、平成3年5月8日に発  
足しました。

大坂

指導者になろうとしたき  
っかけは？

銅谷監督

高校時代バレーボールが  
好きだったので帰郷後は、

今回の「この人に

聞く」は、昨年深川  
市で行われた「第13  
回北海道スポーツ少  
年団バレーボール交  
流大会」で見事優勝  
したえりも岬ウィン  
ディーズ監督の銅谷  
虎二さんにインタビ  
ューしてきました。

団員の健全育成に協力しよ  
うと思いました。

大坂

勝つための秘訣は？

銅谷監督

各大会への出場を目標  
に向けて練習しています。

負けても前向きに取り  
組む精神的強さが秘訣だ  
と思う。

大坂

子供たちに望むことは？

銅谷監督

一生バレーボールを続  
けてほしいですね。

大坂

仕事と指導で大変だと思  
いますが、全国大会で  
の目標は？

銅谷監督

相手は、強豪チームの  
集まりですが、岬ウィン  
ディーズの力を100%  
出し切り、まず1勝を目  
指します。

大坂

お忙しいところありが  
とございました。



町民一丸となって応援し  
ます。大会まであと1か月、  
頑張ってください。

## 編集後記

大寒、節分、立春と季節  
が巡り、暦は冬から春へと  
移ろっていきます。今年の  
冬は思いのほか寒さがやわ  
らいでいるように思えまし  
たが、一転して大雪となっ  
てしまいました。ところで  
この寒い季節に皆さんは健  
康管理をしっかりしていま  
すか。健康診断は早期に対  
応してくださいね。

昨年は、様々な分野の方々  
にお話を聞かせていただき  
ありがとうございました。  
今年は明るくさわやかな1  
年でありますようにと願  
いつつ皆様に開かれた議会と  
なるように、ご意見、ご感  
想をお寄せください。本年  
も愛読くださいますようお  
願い申し上げます。大坂

### 議会広報特別

#### 委員会委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 高松 亮裕 |
| 副委員長 | 近藤 一郎 |
| 委員   | 川村 一治 |
|      | 石川 昭彦 |
|      | 大坂 庄吉 |